

## 単元名 曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして歌おう

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 曲想と旋律のまとまりや音楽の構造との関わりについての知識や、他の声部や伴奏を聴きながら合わせて歌う技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。
- (3) 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

12260101\_001

【教材名】旅立ちの日に 帰れソレントへ (下 P.6～P.11)

【準備等】範唱音源、パート別音源、デジタル教科書、タブレット、ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「旅立ちの日に」の歌詞の内容や演奏形態を理解し、旋律のまとまりを考え、担当するパートの表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「旅立ちの日に」の冒頭が斉唱の表現であることを聴き取る。</li> <li>○9小節目からリピートまでの演奏形態の変化を、楽譜を参照しながら確かめる。</li> <li>○冒頭からリピートまでの主旋律を歌って確認する。</li> <li>★パートの表現を工夫しよう</li> <li>担当するパートを決め、主旋律を意識しながら冒頭からリピートまでを歌う。</li> <li>○冒頭からリピートまでの旋律のまとまりを考え、歌いながらパート内で交流する。</li> </ul> <p>2 後半部分の速度の設定を工夫し、曲の山場（クライマックス）を意識して表現する。</p> <li>★曲の山場を意識して表現しよう。</li> <li>○Piu mosso以降を歌い、他のパートとの関係や自分のパートの役割を考える。</li> <li>○Piu mossoをさまざまな速度で歌い、気が付いたことを楽譜やワークシートに書き込んだり、パートごとに発表したりする。</li> <li>○まとめたことを学級全体で交流し、他のパートの表現を聴き工夫する。</li> <p>3 「帰れソレントへ」の歌詞の内容を理解し、旋律のまとまりや速度の設定などを生かしながら表現を工夫する。</p> <li>★「帰れソレントへ」を独唱で表現しよう。</li> <li>○「帰れソレントへ」の歌詞の内容を理解し、8小節目のまとまりを意識しながら歌う。</li> <li>○rit.やa tempo、フェルマータなどの速度に関する用語や記号を確認し、伴奏とともに表現を工夫する。</li> <li>○同主調転調について理解し、歌詞の内容や旋律のまとまりとの関係を考えながら表現する。</li> <li>○曲想の変化と関わらせて曲の山場（クライマックス）を意識し、独唱で表現する。</li>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まなびリンクを活用して聴取させる。</li> <li>・休符を意識させる。</li> <li>・まなびリンクを活用して聴取させ、演奏形態の変化による効果を感じ取らせる。</li> <li>・8小節目ごとの強弱の違いを意識させる。</li> </ul> <p>【評】歌唱活動を通して、「関心・意欲・態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書でP.8の楽譜を明示し、交流した内容を書き加えて確認させる。</li> <li>・息つぎの位置を確認し、すばやく目立たないようにさせる。</li> </ul> <p>【評】曲想と旋律のまとまりや音楽の構造との関わりについて理解し、他の声部を聴きながら合わせて歌う技能を身に付ける活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットのメトロノーム機能を活用し、? =90, 116, 120の三つの速さで表現し、速度が速くなる効果を考えさせる。</li> </ul> <p>【評】曲想と音楽の構造との関わりについての知識を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表されたことを整理し、実際に歌ってみたり、まなびリンクで範唱を聴いたりして工夫する内容をまとめる。</li> </ul> <p>【評】歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伴奏から拍子感や速度を感じ取り、旋律を歌わせる。</li> <li>・デジタル教科書を活用して楽譜を提示し、速度の設定や曲の山場（クライマックス）などを確認させる。</li> </ul> <p>【評】曲想と旋律のまとまりとの関わりについて理解し、伴奏を聴きながら歌う技能を身に付けて表現する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫したことや曲の山場（クライマックス）を楽譜に書き込ませ、グループで交流させながら活動を指示する。</li> </ul> <p>【評】曲想と旋律のまとまりや音楽の構造との関わりを理解し、伴奏を聴きながら合わせて</p>

歌う技能を得たり生かしたりしながら，曲にふさわしい歌唱表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

「旅立ちの日に」を主教材にして，曲想とその変化を感じ取りながら音楽の構造や歌詞との関係を考え，速度の変化などを生かして合唱表現するために必要な技能を身に付ける。「帰れソレントへ」では，速度の変化を転調や強弱とともに活用して表現を工夫し，ピアノ伴奏と合わせて歌う技能を身に付ける。

【共通事項】リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・構成